

令和8年度「現代の国語」シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2
学級	1年 A～S 組	教材・副教材	精選現代の国語(第一学習社)、 未来をひらく常用漢字検定5級～2級(桐原書店)、 <B組のみ>読み解くための現代文単語(文英堂)		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを旨とする。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度		論理的な表現	論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 説得力を意識した話し合いをする。	振り返りシート グループワーク 授業ノート 小テスト 定期考査
	5	知識・技能 思考力・判断力・表現力		「本当の自分幻想」 中間考査	主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。	
	6	知識・技能 思考力・判断力・表現力		書き方の基礎レッスン	表記・表現の基本ルールを理解する。 接続表現・表現技法を理解する。	
	7	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度		「水の東西」 期末考査	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 筆者の考えに対する自分の考えを話し合う。	
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	知識・技能 思考力・判断力・表現力		ものとことば	具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。	振り返りシート グループワーク 授業ノート 小テスト 定期考査
	10	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度		話し方の工夫 中間考査	話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。	
	11	知識・技能 思考力・判断力・表現力 知識・技能 主体的に学習に取り組む態度		「生と死が創るもの」 「AIは哲学できるか」	三つのまとまりの関係性を捉えて内容を把握し、生命科学の観点から提示される「死」について考えを深める。 「論理の型」(推論)を学ぶ。	
	12	知識・技能 思考力・判断力・表現力		日本の労働問題にかかわる資料を読み比べる	労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて理解したことをまとめる。	

				期末考査		
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	知識・技能 思考力・判断力・表現力		「フェアな競争」	筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。	振り返りシート グループワーク 授業ノート 小テスト 定期考査
	2	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度		スピーチで自分を伝える	自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。	
	3	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度		「ロビンソンの人間と自然」	「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の主張を読み取る。	
				学年末考査		

令和 8年度 「言語文化」シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2
学級	1年A～S組	教材・副教材	精選言語文化（第一学習社） ダブルマスター古典文法+漢文句形(第一学習社)		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度	古文入門	古文を読むために1 兎のそら寝	・文語のきまりを理解する。 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさ人間描写の巧みさを知る。	プリント グループワーク 音読練習 小テスト
	5			古文を読むために2 絵仏師良秀		
	6	知識・技能 思考力・判断力・表現力	漢文入門	漢文を読むために1 狐借虎威	・訓読のきまりを理解する。 ・返り点の使い方を習得する。 ・現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・動詞の活用の仕方を理解する。	プリント グループワーク 音読練習 小テスト
7	歌物語	古文を読むために3				
第2学期	9	知識・技能 思考力・判断力・表現力	歌物語	伊勢物語『芥川』	・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。	プリント グループワーク 音読練習 小テスト
10	中間考査					
第3学期	11	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	小説(一)	羅生門	・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	プリント グループワーク 発表 小テスト
	12			期末考査		
第3学期	1	知識・技能 思考力・判断力・表現力	小説(二) 漢詩	夢十夜	・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。	プリント グループワーク 音読練習 小テスト
2	漢詩のきまり					
3	唐詩の世界					
				学年末考査		

単位数	2	学科・学年・学級	地歴公民科・1年・A～S
教科書	高校生の地理総合	副教材	高校生の地理総合ノート

1 科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4～6月	指導要領A	地図や地理情報システムと現代世界	地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る。 地理情報システムの読み取りや作成を行う。 地球の姿や、緯度経度の差が及ぼす影響について探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
第2学期	9～10月	指導要領B-(1)	国際理解と国際協力～生活文化の多様性の基礎～	世界の人々の特色ある生活文化を基に、生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりすることを探究する。 主題を設定し、世界の人々の生活文化について、その環境や文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
	10月～12月	指導要領B-(2)	地球的課題と国際協力	世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを、共通性や課題相互の関連性などに着目し考察する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
第3学期	1月～2月	指導要領C-(1)	持続可能な地域づくりと私たち～自然環境と防災～	我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を探究する。 身の回りの災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて調査する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
	2月～3月	指導要領C-(2)	持続可能な地域づくりと私たち～生活圏の調査と地域の展望～	地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて学習する。 学習した地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などを基に、「防災」を軸にして生活圏の調査と地域の展望を考察する学習活動を行う。	ペーパーテスト 巡検シート パフォーマンス評価 振り返りシート

令和8年度数学科「数学Ⅰ」シラバス

単位数	3単位	学科・学年	普通科・1年次
教科書	新編 数学Ⅰ(数研出版)	副教材等	3TRIAL 数学Ⅰ(数研出版)

1 科目の目標

<p>数と式, 2次関数, 図形と軽量, 集合と論証について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 具体的な事象を数学的に考察し処理するための能力を育てるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。</p>
--

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 数と式	第1節 式と計算	<p>式を, 目的に応じて1つの文字に着目して整理したり, 1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて, 多面的に捉えたり, 目的に応じて適切に変形したりする力を培う。</p> <p>【知・技】単項式や多項式, 同類項, 次数など式に関する用語を理解し, 四則演算することができる。乗法公式を用いて, 式の展開やいんすうぶんかいをすることができる。</p> <p>【思・判・表】式を1つの文字におき換えることによって, 式の計算を簡略化することができる。複雑な式についても, 項を組み合わせる, 降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで, 因数分解をすることができる。</p> <p>【主】式の変形, 整理などの工夫において, よりよい方法を考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み, 提出物を期限を守って提出できる。</p>	定期考査 提出物
	5		中間試験		
	5		第2節 実数	<p>中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ, 数の体系についての理解を深める。その際, 実数が四則演算に関して閉じていることや, 直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに, 簡単な無理数の四則計算ができるようにする。</p> <p>【知・技】分数を循環小数で表すことができる。有理数が整数, 有限小数, 循環小数のいずれかで表される理由を理解している。根号を含む式の加法, 減法, 乗法の計算ができる。また, 分母の有理化ができる。</p> <p>【思・判・表】四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。根号を含む式の計算について, 一般化して考えられる。</p> <p>【主】今まで学習してきた数の体系について整理し, 考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み, 提出物を期限を守って提出できる。</p>	定期考査 提出物
	6				
	6		第3節 一次不等式	<p>不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに, 不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり, 具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。</p> <p>【知・技】不等号の意味や性質を理解し, 数量の大小関係を式で表すことができ, 1次不等式や連立不等式を解くことができる。</p> <p>【思・判・表】身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ, 問題を解決することができる。</p> <p>【主】不等式における解の意味について, 等式における解と比較して, 考察しようとする。日常的な事象に1次不等式が活用できることに興味をもち, 考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み, 提出物を期限を守って提出できる。</p>	定期考査 提出物
	7	第2章 集合と命題		<p>集合と命題に関する基本的な概念を理解し, それを事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>【知・技】命題の真偽を決定し, 反例の意味を理解することができる。命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解し, それらの真偽を調べることができる。</p> <p>【思・判・表】命題の真偽を, 集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。命題が偽であることを示すには, 反例を1つあげればよいことが理解できている。</p> <p>【主】条件を満たすものの集合の包含関係が, 命題の真偽に関連していることに着目し, 命題について調べようとする態度がある。主体的に演習問題に取り組み, 提出物を期限を守って提出できる。</p>	定期考査 提出物
			期末試験		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第3章 2次関数	第1節 2次関数とグラフ	<p>2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、グラフをかくなどして多面的に考察する。</p> <p>【知・技】$y = ax^2$, $y = ax^2 + q$, $y = a(x-p)^2$, $y = a(x-p)^2 + q$の表について、グラフの平行移動とともに理解している。平方完成をすることができ、2次関数$y = ax^2 + bx + c$のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。</p> <p>【思・判・表】放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。</p> <p>【主】一般の2次関数$y = ax^2 + bx + c$について、頂点、軸の式を考察し、グラフを書こうとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。</p>	定期考査 提出物
	10		第1節 2次関数の値の変化 中間試験	<p>2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。</p> <p>【知・技】2次関数が最大値または最小値をもつことを理解し、求めることができる。2次関数の決定において、与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。</p> <p>【思・判・表】2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。</p> <p>【主】2次関数の決定条件に興味、関心をもち、考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。</p>	定期考査 提出物
	11	第4章 図形と軽量	第3節 2次方程式と2次不等式	<p>2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。</p> <p>【知・技】2次方程式や2次不等式を解くことができる。2次の連立不等式を解くことができる。</p> <p>【思・判・表】2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、$D = b^2 - 4ac$の符号から考察することができる。</p> <p>【主】2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その2次不等式の解法に活かそうとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。</p>	定期考査 提出物
	12	第4章 図形と軽量	第1節 三角比	<p>三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。</p> <p>【知・技】直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。三角定規に使われている角に対する三角比を求めることができる。</p> <p>【思・判・表】三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$において、三角比の値から$\theta$を求めることができる。また、1つの三角比の値からの残りの値を求めることができる。</p> <p>【主】これまでに学習している数や図形の性質に関する拡張と対比し、三角比を鋭角から鈍角まで拡張して考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。</p>	定期考査 提出物
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		第2節 三角形への応用	<p>図形の構成要素間を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする力を培う。</p> <p>【知・技】正弦定理や余弦定理・三角形の面積の求める公式を用いて必要なものを求めることができる。</p> <p>【思・判・表】三角比や正弦定理・余弦定理を測量に応用できる。</p> <p>【主】正弦定理や余弦定理・三角形の面積の求める公式を用いて必要なものを求めようとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。</p>	定期考査 提出物

令和8年度 数学科 「 数学A 」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科1学年
教科書	改訂版 新編 数学A (数研出版)	副教材	改訂版 3TRIAL 数学1+A (数研出版)

1 科目の目標

図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	場合の数と確率	場合の数	集合の要素の個数 場合の数 順列	提出物 小テスト 定期考査 取り組み状況
	5		中間考査		
	6	確率	確率	組合せ	提出物 小テスト 定期考査 取り組み状況
7	期末考査			事象と確率 確率の基本性質 独立な試行と確率	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	図形の性質	平面図形	条件付き確率 期待値	提出物 小テスト 定期考査 取り組み状況
	10			三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心	
	11	期末考査	チェバの定理・メネラウスの定理	提出物 小テスト 定期考査 取り組み状況	
12	円に内接する四角形 円と直線				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	空間図形	空間図形	2つの円	提出物 小テスト 定期考査 取り組み状況
	2			作図 直線と平面	
	3			空間図形と多面体 学年末考査	

令和8年度 理科 化学基礎

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	普通科 1 年次
教科書	化学基礎 (実教出版)	副教材等	化学基礎エブリノート・アクセスノート化学基礎化学基礎(実教出版)

2 科目の目標

日常生活や社会との連携を図りながら、物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育むとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、化学的な見方や考え方を養う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 ・自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	【観点の到達目標】 ・自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・元素記号 ・化学式 ・計算 ・実験のスキル	【イチカシ学カスタンダード】 ・ディスカッション ・グループワーク ・実験の考察	【イチカシ学カスタンダード】 ・調べ学習 ・発展問題への取り組み ・主体的に学ぶ姿勢
【評価の方法】 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト ・定期考査	【評価の方法】 ・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト ・定期考査	【評価の方法】 ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実験報告書 ・定期考査

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法	
4	物質の探究	【知・技能】科学的に探究する方法を理解するとともに、身近な物質の探究に必要な基本操作を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト	
5	物質の構成粒子	【思・判・表】身近な物質の探究に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。 【主】身近な物質の探究に関する事物・現象に主体的に関わり、それらに対する気付きからさらに探究しようとする態度を身に付けている。		
6	イオン結合	【知・技能】物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などについて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思・判・表】物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などの観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。		
7		【主】物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。 【知・技能】イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思・判・表】イオンやイオン結合の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主】イオンやイオン結合などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。		
9	共有結合と分子間力	【知・技能】共有結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。また、分子からなる物質の性質を理解している。金属結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、金属の性質を理解している。		・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト
10	金属結合	【思・判・表】分子からなる物質の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。金属の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。		
11	化学結合と物質	【主】共有結合や分子からなる物質などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。金属に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。		
12	物質と化学反応式	【知・技能】物質と化学反応式について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思・判・表】物質と化学反応式についての観察、実験を行い、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現できる。 【主】物質と化学反応式に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。		
1	酸と塩基	【知・技能】酸・塩基と中和について理解するとともに、器具の扱い方や溶液の調製方法など滴定操作における基本的な技能を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト	
2		【思・判・表】酸・塩基と中和についての観察、実験を行い、中和反応に関与する物質の量的関係を科学的に探究する力を身に付けている。 【主】酸・塩基と中和に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。		
3	酸化還元反応	【知・技能】酸化と還元について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思・判・表】酸化と還元についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主】酸化と還元に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。		

担当者からのメッセージ(資質能力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ・身近な物質や現象について普段から関心を持ち、授業で学習する事柄と結びつけて考える習慣を身に付けること。 ・ノートは、板書をそのまま写すだけでなく、自分なりに工夫し学習の助けにする。 ・実験には意欲・関心を持って取り組み、実験結果や、そこから考察を自分自身で考えて、実験の意味を把握するようにつとめる。 ・課題プリントや問題集を積極的に解いて、反復して学習内容の定着をはかる。 ・実験では、事前の注意事項をよく聞き指示に従い事故のないように十分注意すること。 ・実験は、班で協力して準備・実験・記録・データ処理・片付けを行えること。 ・欠席した場合はノートやプリントを周囲の人から借りて自筆で写し、準備をすること。

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・1年次・E、H組
教科書	高等学校改訂 生物基礎(第一学習社)	副教材	2026 セミナー生物基礎 (第一学習社)

1 学習の到達目標

- 1 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 3 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 生物の 共通性	第1節 生物の共通性 ①生物の多様性と共通性 ②すべての生物に共通する特徴 ③細胞の構造と生物の共通祖先	地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。 藻類、菌類、細菌の観察結果から、すべての生物のからだは細胞からなることを見だし、生物が共通にもつ特徴を理解する。 身近な材料を用いて、DNAを抽出し、DNAをもつことが生物に共通してみられる特徴であることを確認する。 脊椎動物の系統樹から、生物に共通してみられる特徴は、進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであると考察できる。 共通の祖先が長い年月の間に変化して、生物が多様化したことを理解する。 原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。また、真核細胞において、核・細胞膜・細胞質基質・ミトコンドリア・葉緑体・液胞・細胞壁の機能の概要を理解する。 現生生物の共通祖先について、推測される特徴を理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 授業態度
	5		第2節 生物とエネルギー ①生物とエネルギー ②代謝とATP ③代謝と酵素	光エネルギーがなければ植物は生育し続けることができないことを示した資料から、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 代謝におけるATPの役割を資料から読み取ることができる。 光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、このエネルギーによって有機物を合成する過程であることを理解する。 呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつくられる過程であることを理解する。 酵素の基本的な特徴について理解する。 肝臓片に含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の触媒作用を確認する。	

中間考査

5	第2章 遺伝子 とその 働き	<p>第1節 遺伝子の本体と構造</p> <p>①遺伝情報とDNA ②DNAの複製と分配</p>	<p>遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。</p> <p>DNAの塩基の相補的な結合を示した資料から、DNAの構造の特徴を見だし、DNAの基本的な構造を理解する。</p> <p>DNA分子の特徴をもとにDNAの分子モデルを作製することができる。</p> <p>DNAの複製の概要を示した資料から、塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることに気づき、半保存的複製を理解する。</p> <p>DNAの半保存的複製を、分子モデルを用いて再現できる。</p> <p>多細胞生物では、一部の細胞が分裂して増殖していること、分裂している細胞には細胞周期がみられることを理解する。</p> <p>間期の中にDNAが複製され、細胞分裂を通じて均等に分配されることで、細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。</p> <p>細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。</p> <p>タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察する。また、結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。</p>	
6				
7		<p>第2節 遺伝情報とタンパク質</p> <p>①タンパク質 ②遺伝情報とタンパク質の合成 ③遺伝子とゲノム</p>	<p>生体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。</p> <p>タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。</p> <p>DNAの塩基配列と、その配列で決定されるアミノ酸配列を示した資料から、この2つの配列の関係について考察し、3つの塩基の並び(コドン)が1つのアミノ酸に対応していることを理解する。</p> <p>DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ(転写)、これがアミノ酸配列に置き換えられる(翻訳)という流れを理解する。</p> <p>遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。</p> <p>遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。</p> <p>全遺伝子が常に発現しているのではなく、細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。</p> <p>だ腺染色体のパフを観察し、パフでmRNAが盛んに合成されていることを確認する。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 授業態度</p>

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第3章 ヒトの体内環境の維持	第1節 情報の伝達と体内環境の維持 ①情報伝達と恒常性 ②自律神経系による体内環境の調節	<p>恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。</p> <p>運動前後の心拍数の変化を測定する実験から、からだには体内環境の変化を情報として伝達するしくみがあることを見だし、体内における情報の伝達の概要を理解する。</p> <p>脳幹の働きと、脳死がどのような状態であるのかについて理解する。</p> <p>自律神経系には交感神経と副交感神経があり、これらが拮抗的に働くことによって体内環境を調節していることを理解する。</p> <p>心臓の拍動数が意思とは無関係に調節されていることを理解する。</p> <p>内分泌系による体内環境の調節の特徴について理解する。</p> <p>ホルモン分泌のフィードバック調節について、チロキシンの分泌調節を例に理解する。</p> <p>健康なヒトとインスリンを正常に分泌できないヒトについて、食事の前後の血糖濃度とインスリン濃度の経時的変化を示す資料から、インスリンの働きを考察し、理解する。</p> <p>血糖濃度調節の流れを示した資料から、血糖濃度と自律神経系の関わりについて気づき、血糖濃度調節のしくみについて理解する。</p> <p>糖尿病の原因と症状について理解する。また、糖尿病で尿中にグルコースが排出される原因を理解する。</p> <p>体温調節のしくみについて理解する。</p> <p>血液凝固のしくみと体内環境の維持との関係について理解する。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート
	10		③内分泌系による体内環境の調節 ④体内環境を調節するしくみ ⑤血液凝固		
	中間考査				
	11		第2節 免疫	<p>皮膚や粘膜による生体防御について理解する。</p> <p>好中球の存在下における細菌数の減少を示した資料や、好中球が細菌を取り込むようすを撮影した資料から、白血球が体内でどのような働きをしているかに気づき、白血球の役割について理解を深める。</p> <p>カイコガを用いて血球の食作用を観察する。</p> <p>免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。</p> <p>自然免疫のしくみを理解する。</p> <p>抗体の特徴について理解する。</p> <p>リンパ球による抗原認識、免疫寛容のしくみを理解する。</p> <p>獲得免疫は自然免疫によって誘導されることを理解する。</p> <p>獲得免疫による病原体排除の流れを理解する。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート
	12		①病原体への防御のしくみ ②自然免疫 ③獲得免疫 ④自然免疫と獲得免疫の特徴 ⑤免疫と生活		

				<p>一次応答と二次応答における抗体生産量の変化を示した資料をもとに、同じ感染症にかかりにくい理由を考察する。</p> <p>二次応答や拒絶反応が起こるしくみを理解する。</p> <p>免疫反応について、免疫細胞のコマを用いて、流れを整理しながら説明できる。</p> <p>自然免疫と獲得免疫の特徴を理解し、お互いに活性化し合って病原体を排除することを理解する。</p> <p>アレルギーや自己免疫疾患、エイズなど身近な免疫に関する疾患の生じるしくみを理解する。</p> <p>免疫のしくみを用いている予防接種や血清療法のしくみを理解する。また、近年では抗体医薬が用いられていることを理解する。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート</p>
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第4章 植生と遷移	<p>第1節 植生と遷移</p> <p>①植生と環境の関わり ②遷移のしくみ</p>	<p>植生は、相観によって森林・草原・荒原に大別されることを理解する。</p> <p>植生ごとに環境を比較する観察から、植生が異なると光や土壌環境も異なり、植生と環境は密接な関係にあることに気づく。</p> <p>森林の土壌の特徴を理解する。</p> <p>森林には階層構造がみられ、階層によって光などの環境が異なることを理解する。</p> <p>光の強さと光合成速度の関係を、グラフを通じて理解する。</p> <p>陽生植物、陰生植物の光合成速度の特徴を理解する。</p> <p>陽葉と陰葉の断面を観察・比較し、構造の違いと光環境との関係を考察する。</p> <p>植生は不変ではなく、遷移していることを理解する。</p> <p>伊豆大島で行われた、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果をもとに、遷移の進む要因を考察する。</p> <p>乾性遷移のモデルについて、土壌の形成や光環境の変化などの環境形成作用に注目して理解する。</p> <p>極相林にはさまざまな大きさのギャップが存在し、その大きさによってギャップを埋める樹種が変わることがあることを理解する。</p> <p>湿性遷移、二次遷移について理解する。</p>	<p>小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート</p>

		第2節 バイオーム ①遷移とバイオーム	<p>バイオームの概念を理解し、陸上にはその地域に生育する植物を基盤としたさまざまなバイオームが成立することを理解する。</p> <p>現存するバイオームと、その地域における気温や降水量の分布を対応させた資料から、環境条件によって、遷移の結果として森林や草原、荒原など多様なバイオームがみられることを理解する。</p> <p>地球上には、それぞれの場所に適応した植物が生育し、いろいろなバイオームが成立していることを理解する。</p> <p>日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解する。</p>	小テスト レポート 課題 授業プリント 演習ノート 振り返りシート
2	第5章 生態系とその保全	<p>第1節 生態系と生物の多様性</p> <p>①生態系の成り立ち ②生態系における生物同士の関わり</p> <p>第2節 生態系のバランスと保全</p> <p>①生態系の変動と安定性 ②人間活動による生態系への影響とその対策</p>	<p>生態系の構成について理解する。</p> <p>土壌生態系を構成する生物の観察から、身近な環境でみられる生物の種の多様性に気づく。また、異なる環境でみられる土壌生態系の観察から、生態系の種の多様性や個体数は環境と密接に関係していることを理解する。</p> <p>地球上には、陸上以外にもさまざまな生態系がみられることを理解する。</p> <p>生物は、食物連鎖（食物網）によってつながっていることを理解する。</p> <p>上位の栄養段階の生物を排除したときの、下位の生物の種数や生息密度の変化を示した資料から、捕食－被食の関係が種の多様性に与える影響について考察する。</p> <p>キーストーン種によって生態系のバランスが保たれている場合があることを理解する。</p> <p>食物連鎖を通じて間接的に他の生物に影響を与えることがあることを理解する。</p>	

3. 評価の観点

知識・技能	生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

4. 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・知識技能 …… 定期テスト、小テスト、課題 ・思考判断表現 …… 定期テスト、小テスト、レポート、課題、振り返りシート ・主体的に学習に取り組む態度 …… 授業プリント、演習ノート、振り返りシート

5. 担当者からのメッセージ(確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>生物基礎では日常生活に結び付けながら、学習に取り組みましょう。授業内では課題としてスライドを作成してもらいます。AIを使ってコピーするだけでなく、自身の力で課題に取り組むことによって学習内容を深め、科学的な知識や思考力を深めていってほしいと思います。</p>
--

令和8年度 保健体育 保健

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	1 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指して、主に、身に付けた技能や動き等をより高めたり、新たに得意技を身に付けたりして、攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルールを次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできる。また、運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けたり、一層その理解を深めたりすることができる。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己の課題に応じた運動の取り組み方を発展的にし、多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続するために、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要となる課題を解決することができる。</p>	<p>【観点の到達目標】 運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにするといった運動を継続することの意義などを理解し、各領域において練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組める。学習への責任や参画への意欲といったものを土台とし、仲間やチームに対して、役割を積極的に引き受けたり、話し合いを通して合意形成に貢献しようとするなど主体的に取り組むことができる。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。運動の技能を身に付けることについて、経験に基づく知恵などの暗黙知をも含め、一層その理解を深めたりするなど、知識と技能を関連させて言ったり書き出したりしている。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 選択した運動の中から、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することについて、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要な課題を見付けている。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保することができる。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から基準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	1, 私たちの健康の姿 2, 健康のとらえ方	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
5	3, 意思決定と行動選択 4, 健康に関する環境作り	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
6	5, 生活習慣病とその予防 6, 食事と健康	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・期末考査
7	7, 運動と健康		
9	8, 休養・睡眠と健康 9, 喫煙と健康	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
10	10, 飲酒と健康 11, 薬物乱用と健康	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
11	12, 現代の感染症 13, 感染症の予防	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・期末考査
12	14, 性感染症・エイズとその予防		
1	15, 欲求と適応機制 16, 心身の相関とストレス	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
2	17, ストレスへの対処 18, こころの健康と自己実現	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
3	19, 交通事故の現状と要因 20, 交通社会における運転者の責任と資質 21, 安全な交通社会づくり	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・学年末考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留めたりする」だけでなく, 積極的に自分自身の生活を振り返り, 健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには, 学習した内容をもとに, 自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおけないよう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

授業チャイムと同時に始まりますので, 休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき, チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は, 友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 8 年度 保健体育 体育

1 科目について

単位数	3 単位	学科・学年	1 年次
教科書	アクティブスポーツ(大修館書店)	副教材等	

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指して、主に、身に付けた技能や動き等をより高めたり、新たに得意技を身に付けたりして、攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルールの制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできる。また、運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けたり、一層その理解を深めたりすることができる。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己の課題に応じた運動の取り組み方を発展的にし、多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続するために、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要となる課題を解決することができる。</p>	<p>【観点の到達目標】 運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにするといった運動を継続することの意義などを理解し、各領域において練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組める。学習への責任や参画への意欲といったものを土台とし、仲間やチームに対して、役割を積極的に引き受けたり、話し合いを通して合意形成に貢献しようとしたりするなど主体的に取り組むことができる。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。運動の技能を身に付けることについて、経験に基づく知恵などの暗黙知をも含め、一層その理解を深めたりするなど、知識と技能を関連させて言ったり書き出したりすることができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 選択した運動の中から、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することについて、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要な課題を見付けている。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保することができる。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・学習カード</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・学習カード</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から基準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	ガイダンス 体育理論 体づくり運動	【知・技】 ・学習した内容に対して, 正しく理解し, 理解したことを発言したり, 記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して, 課題を見つけたり, 整理したりするなどして, それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して, 自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
5	武道・ダンス 球技 (バレーボール・ハンドボール)	【知・技】 ・運動の特性に応じて, ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して, 課題を見つけたり, 整理したりするなどして, それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して, 自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
6	器械運動 陸上競技 武道・ダンス	【知・技】 ・学習した内容に対して, 正しく理解し, 理解したことを発言したり, 記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して, 課題を見つけたり, 整理したりするなどして, それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して, 自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
7 9	水泳 武道・ダンス	【知・技】 ・学習した内容に対して, 正しく理解し, 理解したことを発言したり, 記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して, 課題を見つけたり, 整理したりするなどして, それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して, 自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
10 11	球技 (バレーボール・ソフトボール・ハンドボール・卓球) 武道・ダンス	【知・技】 ・運動の特性に応じて, ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して, 課題を見つけたり, 整理したりするなどして, それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して, 自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
12 1 2	陸上競技(長距離走) 武道・ダンス	【知・技】 ・学習した内容に対して, 正しく理解し, 理解したことを発言したり, 記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して, 課題を見つけたり, 整理したりするなどして, それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して, 自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
3	球技(サッカー・ハンドミット) 武道・ダンス	【知・技】 ・学習した内容に対して, 正しく理解し, 理解したことを発言したり, 記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して, 課題を見つけたり, 整理したりするなどして, それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して, 自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス, 授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく, 新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず, 仲間の気持ちや体の状態に目を向け, 問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髪などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 1年次		学
教科書	工芸 I 日本文教出版	副教材等			

1 科目の目標

工芸の意味を理解し、生活の中のデザイン、手仕事への関心を高める。
デザインの発想力と表現力の向上。技術の向上。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	・手描き染めによる手拭	・モチーフを観察し、細密描写する	・こちらで用意した、モチーフを選びデザイン、細密描写していく。	・よく観察していたか。
	6 7		・それをもとにデザイン化したり、構成したりする。	・デザイン化した、絵を手拭いに構成しながら布描きペンで描いていく。 ・彩色ペンで彩色していく。	・構成、彩色は考えられていたか。きれいににじまず彩色できたか。
第2学期	9 10 11 12	・真鍮によるオーナメント	・真鍮をきり、磨き、オーナメントを制作する。	・4mmの真鍮板を自分の作りたい形に糸鋸を使って切る。 ・鑢を使って形を整える。	・糸鋸は上手く使えたか。
				・耐水ペーパーで、＃240～＃1500まで磨きひからせる	・鑢、耐水ペーパーで綺麗に磨けたか。
第3学期		・革パステース	・革によるパステース制作	・革に、刻印を打ち（デザインし）彩色して、縫うための穴をあけレース糸で編んでいく。	・デザイン、刻印の打ち方、染め方、編み方を評価の対象とする。

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科・1年次
教科書	高校生の音楽1 (教育芸術社)	副教材	

1 科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	ガイダンス 音楽ってなんだろう	音楽史	教材「音楽ってなんだろう」 ・音楽について考える ・音楽の起源を探る ・音楽の目的と価値を考える	・学習プリント
		校歌を学ぶ 世界を変えていく力	歌唱表現	教材「校歌」 ・校歌の歌詞を理解する 教材「We are the World」 ・曲の文化的・歴史的背景を探る	・学習プリント ・歌唱実技テスト
	6 7	音楽の役割 音名と読譜	器楽演奏(ハンドベル) 楽典	教材「四季の歌」 ・音楽の役割を知る ・ハンドベルの奏法、演奏 教材 学習プリント ・読譜のスキル習得	・学習プリント ・器楽実技テスト ・読譜テスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	イタリア語歌曲	歌唱表現	教材「カロミオベン」 ・イタリア歌曲の特徴	・歌唱実技テスト
		世界の歌 音楽の効果	器楽演奏(ハンドベル) 鑑賞・創作	教材「オーシャンゼリゼ」 ・正確なリズムを身につける 教材 学習プリント ・音楽を形作っている要素を理解し、働きを考える ・表現の意図を捉え、情景にあった楽曲を見つけ出す ・根拠をもって説明する	・器楽実技テスト ・学習プリント ・プレゼンテーション
	11 12	音楽の力	鑑賞	教材「交響曲第9番」 ・曲の構成を理解する ・作曲者の思いを感じ取る ・現代における価値を知る	・学習プリント

		5線記譜法	楽典	教材 学習プリント ・5線記譜法の習得 ・聴音の習得	・3学期筆記テスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	日本の歌	歌唱表現	教材「荒城の月」 ・日本語の美しい発音や歌い方を知る ・日本語の表現 ・楽曲にあった歌唱方法 ・情景理解、歴史的背景理解	・歌唱実技テスト ・学習プリント
	2			リズムアンサンブル	
	3	5線記譜法	楽曲		聴音課題
		物語と音楽の関わり	鑑賞	教材「魔法使いの弟子」 ・詩と音楽要素の関わり ・情景理解	学習プリント

令和8年度 芸術科 「美術Ⅰ」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	1年次
教科書	光村図書 美術1	副教材	

1 科目の目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な時点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション	美術って何のために学ぶの？	・美術を学ぶ意義を理解したうえで、今後の授業でどのように取り組んでいくかや、大切にしていきたいことを考える。	ワークシート
	5	絵画/表現 立体/表現	混色演習 絵の具について 立体表現	・パレットや絵筆の使い方、絵の具の性質について理解する。 ・三原色を混色し、色相環をつくる。 ・色の三属性について理解する。 ・混色することで色の幅が広がることを理解する。 ・よく見たり、触ったりすることで観察する大切さを理解する。 ・筆の動かし方や絵の具の濃淡の違い、モダンテクニックを活用することによって表現方法の幅が広がることを理解する。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
	6 7	絵画/表現 絵画/鑑賞	参考作品の鑑賞 主題決め アイデアスケッチ 水彩絵の具を使った表現 コラージュを使った表現 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・テーマに合わせて主題を決める。 ・構図や色の計画、全体の構想を練る。 ・水彩絵の具で着彩する。 ・コラージュで動物を制作し、貼り合わせる。 ・作品の鑑賞会を行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	立体/表現 立体/鑑賞	参考作品の鑑賞 主題決め アイデアスケッチ 石粉粘土について 骨格作り 塑像 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・テーマに合わせて主題を決める。 ・構造や色の計画、全体の構想を練る。 ・石粉粘土の特性を理解する。 ・針金で骨格をつくる。 ・石粉粘土で塑像する。 ・作品の鑑賞会を行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
	10 11				

	1 2	デザイン /鑑賞 デザイン /表現	デザイナーのプレゼンの鑑賞 プロダクトデザインの鑑賞 プレゼン資料の制作 プレゼン会	<ul style="list-style-type: none"> ・グッドデザイン賞のプレゼン動画を鑑賞する。 ・プロダクトデザインの鑑賞をする。 ・自分が選んだデザインのプレゼン資料を制作する。 ・プレゼン会を行う。 	ワークシート プレゼン資料 振り返りシート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	絵画 /鑑賞 絵画 /表現 絵画 /鑑賞	ゲルニカの鑑賞 作品の鑑賞 なりきる画家決め 材料・用具の選択 鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲルニカを対話型鑑賞する。 ・自分なりのゲルニカの解釈を発表する。 ・ゲルニカやピカソについて調べる。 ・画集を鑑賞する。 ・なりきる画家を一人選ぶ。 ・選んだ画家になりきって作品を制作する。材料や用具を選ぶ。 ・作品の鑑賞会を行う。 	ワークシート 振り返りシート ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
	2 3	絵画 /表現 絵画 /鑑賞	参考作品の鑑賞 主題決め メディウムについて 制作 鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品を鑑賞する。 ・テーマに合わせて主題を決める。 ・メディウムやペインティングナイフの特性を理解する。 ・アクリル絵の具とメディウムを活用し、制作する。 ・作品の鑑賞会を行う。 	作品 振り返りシート まとめレポート

令和 8 年度 芸術科 「書道Ⅰ」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	第1学年
教科書	書道Ⅰ（東京書籍）	副教材	

1 科目の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	書写から書道へ	書的美を楽しむ 書道史地図 書写で学んできたこと 書道で学ぶこと 用具・用材 姿勢・執筆法	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校書道で学習することについて、確認する。 ・臨書の意味や方法を理解する。 ・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 ・基本の姿勢、執筆法、後かたづけについて、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	5	漢字の書 〈楷書〉	漢字の成立と変遷 拓本 〈楷書〉 楷書の特徴 表現を比べよう 「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「自書告身」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の成立と変遷について理解する。 ・拓本の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。 ・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 ・「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、それぞれの文字から受ける印象について考える。 ・楷書の古典を臨書する意義について理解する。 ※「人物と時代」なども活用する。 ・楷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 	
	6 7	〈行書〉	行書の特徴 コラム 王羲之 「蘭亭序(神龍半印本)」 「争坐位文稿」 「風信帖(第一通)」 コラム 三筆から三跡へ	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。 ・行書の特徴を理解する。 ・行書の古典を臨書する意義について理解する。 ※「人物と時代」なども活用する。 ・行書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 ・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 ※「字形と筆順」なども活用する。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	仮名の書	仮名の成立 仮名を書く準備	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と変遷について理解する。 ・仮名の用具・用材の特徴について理解する。 ・仮名の基本的な線について理解し、練習 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品

	10	平仮名の単体 変体仮名 連綿 「蓬萊切」 「高野切第三種」 「関戸本古今和歌集」 全体構成 参考 三色紙の散らし書き	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。 ・変体仮名について理解し、練習する。 ・連綿について理解し、練習する ・平安時代の代表的な古筆を臨書する意義について理解する。 ※「人物と時代」なども活用する。 ・古筆を鑑賞し、その美について理解する。 ・古筆の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 ・行書きの構成について理解し、練習する。 ・散らし書きの構成について理解し、練習する。 <p>三色紙について鑑賞し、それぞれの特徴について理解する。</p>		
	11	創作 古筆を生かそう 鑑賞 書の美や風趣を味わおう	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古筆の特徴や技法を生かして、行を構成し、創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。 ・古筆の形態の違いについて理解する。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品	
	12	漢字の書 創作 古典を生かそう 鑑賞 書の美や風趣を味わおう	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。 		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書の変遷	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。 ・古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解する。 ・文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけられることを理解する。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	2	篆刻・刻字	創作 言葉と書を調和させよう	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の手順に従い意図に基づいて創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。 	
	3		篆刻と落款 創作 落款印を刻そう 鑑賞 篆刻の美や風趣を味わおう	<ul style="list-style-type: none"> ・落款の意味や種類について理解する。 ・篆刻の用具・用材や落款印の手順について理解する。 ・篆刻の作品を鑑賞する。 	

令和8年度 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

単位数	単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A~H組
教科書	Landmark FIT I (KEIRINKAN出版)	副教材等	Landmark Fit 1 Workbook (啓林館) Pocket Speaking (啓林館) Factbook English Grammar (桐原書店) チャンクで英会話 (三省堂) 英文速読ドリル10minutes (Z-KAI)

1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと・読むこと・話すこと [やり取り]・話すこと [発表]・書くことの5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画												
月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)	
					聞	読	取	発	書			
4	(聞くこと) 高校生活でやってみようことについての発表を聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 (読むこと) 高校生活に向けた目標設定についての文章を読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。また、文章を通して、進行形・受動態の意味や働きを理解する。 (話すこと [やり取り]) 相手や自分が高校生活でやってみようことについて、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。 (話すこと [発表]) 高校生活でやってみようことについて、グループやクラスで話して伝える。 (書くこと) 高校生活でやってみようことについて、文章に書いて伝える。	Lesson 1 Enjoy Your Journey	発音する、読解する、意見を交換する	知					○	3	定期テスト、授業内の取り組み	
				思		○						
				態			○				0	
				知								
				思							3	定期テスト、授業内の取り組み
				態			○					
				知					○	0		
				思								
				態							0	
				知								
				思							3	定期テスト、授業内の取り組み
				態								
				知					○	0		
				思								
				態							0	
				知								
				思							3	定期テスト、授業内の取り組み
				態								
				知					○	0		
				思								
				態							0	
				知								
				思							3	定期テスト、授業内の取り組み
				態								
				知					○	0		
				思								
				態							0	
				知								
				思							3	定期テスト、授業内の取り組み
				態								
				知					○	0		
				思								
				態							0	
				知								
				思							3	定期テスト、授業内の取り組み
				態								

第2学期学習指導計画												
月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)	
					聞	読	取	発	書			
9	(聞くこと) 自分がよくするジェスチャーについての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 (読むこと) 非言語コミュニケーションについての文章を読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。また、文章を通して、関係代名詞の意味や働きを理解する。 (話すこと [やり取り]) 相手や自分がよくするジェスチャーについて、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。 (話すこと [発表]) 自分がよくするジェスチャーについて、グループやクラスで話して伝える。 (書くこと) 自分がよくするジェスチャーについて、文章に書いて伝える。	Lesson 5 Communication without Words	発音する、読解する、意見を交換する	知					○	3	定期テスト、授業内の取り組み	
				思		○						
				態			○				0	
				知								
				思							3	定期テスト、授業内の取り組み
				態								
				知					○	0		
				思								
				態							3	定期テスト、授業内の取り組み
				知								
				思							3	定期テスト、授業内の取り組み
				態								

10	<p>読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。次に、題名や形・比較級・最上級の意味や働きを理解する。</p> <p>(話すこと [やり取り]) 犬・猫の殺処分についての相手や自分の意見について、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。</p> <p>(話すこと [発表]) 犬・猫の殺処分について、グループやクラスで自分の考えを話して伝える。</p> <p>(書くこと) 犬・猫の殺処分について、自分の考えを文章に書いて伝える。</p>	Chirori the Therapy Dog		<p>知 〇</p> <p>思</p> <p>態</p>	0
中間 考查	中間考查 単語、文法、内容把握、初見問題 (長文中心)			<p>知</p> <p>思</p> <p>態</p>	0
11	<p>(聞くこと) 田口愛さんへのインタビューを聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。</p> <p>(読むこと) 日本人女性が一人で起こす革命についての文章を読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。また、文章を通して、関係副詞の意味や働きを理解する。</p> <p>(話すこと [やり取り]) 友だちにインタビューして必要な情報を得る。</p> <p>(話すこと [発表]) インタビューした友だちについて、グループやクラスで話して伝える。</p> <p>(書くこと) インタビューした友だちについて、文章に書いて伝える。</p>	Lesson 7 Cacao Revoluti on	発音する、読解する、意見を交換する	<p>知</p> <p>思 〇</p> <p>態</p>	3
12	<p>(聞くこと) ネット友だちについてのメッセージを聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。</p> <p>(読むこと) 仮想世界で人生を生きたゲーマーについての文章を読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。また、文章を通して、SVO+to不定詞・SVO+動詞の原形の意味や働きを理解する。</p> <p>(話すこと [やり取り]) ネット友だちについての相手や自分の意見について、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。</p> <p>(話すこと [発表]) ネット友だちについて、グループやクラスで自分の考えを話して伝える。</p> <p>(書くこと) ネット友だちについて、自分の考えを文章に書いて伝える。</p>	Lesson 8 The Secret Life of a Gamer	発音する、読解する、意見を交換する	<p>知</p> <p>思 〇</p> <p>態</p>	3
期末 考查	期末考查 単語、文法、内容把握、初見問題 (長文中心)			<p>知</p> <p>思</p> <p>態</p>	0

第3学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
				知	思	態	聞	読		
1	<p>(聞くこと) 月と地球のどちらに住みたいかについてのディスカッションを聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。</p> <p>(読むこと) 月の不思議と今後の開発計画についての文章を読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。また、文章を通して、仮定法過去・関係代名詞の非限定用法・仮定法過去完了の意や働きを理解する。</p> <p>(話すこと [やり取り]) 月と地球のどちらに住みたいかについての相手や自分の意見について、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。</p> <p>(話すこと [発表]) 月と地球のどちらに住みたいかについて、グループやクラスで自分の考えを話して伝える。</p> <p>(書くこと) 月と地球のどちらに住みたいかについて、自分の考えを文章に書いて伝える。</p>	Lesson 9 The Moon	発音する、読解する、意見を交換する	<p>知</p> <p>思 〇</p> <p>態</p>	3	定期テスト、授業内の取り組み				
2	<p>(聞くこと) 本文を読んでよかったと思う場面についてのディスカッションを聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。</p> <p>(読むこと) トルコ船の事故に始まる日本とトルコの友情についての文章を読んで、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。</p> <p>(話すこと [やり取り]) 本文を読んでよかったと思う場面についての相手や自分の意見について、疑問点や自分の考えを話して伝え合う。</p> <p>(話すこと [発表]) 本文を読んでよかったと思う場面について、グループやクラスで自分の考えを話して伝える。</p> <p>(書くこと) 本文を読んでよかったと思う場面について、自分の考えを文章に書いて伝える。</p>	Lesson 10 Friendsh ip over Time	発音する、読解する、意見を交換する	<p>知</p> <p>思 〇</p> <p>態</p>	3	定期テスト、授業内の取り組み				
3	<p>(読むこと) アメリカで出会ったアユコとトニーの恋愛模様を読んで、要点を把握する。</p> <p>(話すこと [やり取り]) アユコの最後のセリフに込められた意味について、自分の考えを話して伝え合う。</p>	Reading One Autumn Date	発音する、読解する、意見を交換する	<p>知</p> <p>思 〇</p> <p>態</p>	3	定期テスト、授業内の取り組み				
学 年 末 考 査	学年末考查 単語、文法、内容把握、初見問題 (長文中心)			<p>知</p> <p>思</p> <p>態</p>	0					

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について話された文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。</p>
思考・判断・表現	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えていく。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いていく。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞くようとしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読むようとしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。</p>

評価の方法

a. 活動観察 / b. パフォーマンステスト / c. 課題の提出 / d. ペーパーテスト

<p>担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)</p>	<p>英単語・ペアワーク・グループアクティビティを通して、積極的に他の生徒たちと協働し、英語力を伸ばしていきましょう。</p>
--	---

令和8年度 外国語科「論理・表現Ⅰ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 第1学年
教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression I (東京書籍)	副教材等	

1 学習の到達目標

一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、

1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画										
月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域				評価項目数	主な評価規準 (評価方法等)
					聞	読	取	発書		
4	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、発言や情報などを訂正したり、自分や相手について心配したり、相手に感謝したりできる。 *Writing 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、発言や情報などを訂正したり、自分や相手について心配したり、相手に感謝したりできる。	Unit 1 Lesson 1 初めての食事	褒める、勧める、断るときの表現	知	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
		Unit 1 Lesson 2 道に迷う	提案する、依頼する、道順を説明するときの表現	知	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
5	*Speaking-Presentation 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、聞き手の注意を引いたり、紹介したりできる。 *Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、聞き手の注意を引いたり紹介したりできる。	Unit 1 Lesson 3 人物紹介	身近な人を紹介する、聞き手や読み手の注意を引くときの表現	知	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
		Unit 1 Lesson 4 体調が悪い	体調を聞く、答える、指示する、アドバイスする	知	●	○	○	○	3	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
中間 考査	中間考査(※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。)			知	●	○	○	○	0	
6	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を誘ったり、詳細を説明したりできる。 *Writing 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を誘ったり、詳細を説明したりできる。	Unit 1 Lesson 5 買い物	描写する、相づちを打つ	知	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
		Unit 1 Lesson 6 行ってみたい場所	希望を述べる、理由を述べる	知	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
7	*Speaking-Interaction 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、自説を要約したりできる。 *Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、自説を要約したり、文章をわかりやすくするために言い換えたりできる。	Unit 1 Lesson 7 イベントに誘われる	誘う、誘いを受ける、誘いを断る	知	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト ・提出物
				知	●	○	○	○	0	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
期末 考査	基本的な表現の確認テストを行う			知	●	○	○	○	0	

第2学期学習指導計画										
月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域				評価項目数	主な評価規準 (評価方法等)
					聞	読	取	発書		
9	*Writing 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、困ったことを伝えたり、説明したり、控えめに依頼したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。 *Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、質問を交えながら依頼したり、提案したりできる。 *Writing 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、質問を交えながら依頼したり、提案したりできる。	Unit 1 Lesson 8 スクールカウンセラーに相談	状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案する、お礼や感謝を伝える	知	●	○	○	○	3	・授業内活動の観察
		Unit 1 Lesson 9 お気に入り紹介	映画や本のあらすじを要約したり、登場人物などを紹介したりする、感想や批評を述べる	知	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察
10	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、さまざまな仮定をしたり、理由を加えながら反対したりできる。 *Writing 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、さまざまな仮定をしたり、理由を加えながら反対したりできる。	Unit 1 Lesson 10 待ち合わせに遅刻	相手に謝る、相手を許す、相手を励ます	知	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察
		Unit 1 Lesson 11 家庭でのディスカッション	共感を述べる、残念な気持ちを述べる、解決策を提案する	知	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト

	主な報告をしたり、さまざまな視点で比較して説明したりできる。	フィードバック シジョン		知 思 態	0	
中間 考 査	中間考査(※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。)			知 思 態	0	
11	*Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、詳細を説明したり、理由を述べたり、さまざまな仮定をしたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。	Unit 1 Lesson 12 英字新聞に投稿	要望や主張を述べる、理由を述べる	知 思 態	3	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に推論したり、理由を説明して賛成・反対を表明したりできる。	Unit 2 Lesson 1 クラスで ディベート ①	理由を述べる、例を挙げる	知 思 態	6	・授業内活動の観察
12	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、自説を主張したり、論理的に推論したり、理由を説明して賛成・反対を表明したりできる。	Unit 2 Lesson 2 クラスで ディベート ②	主張する、推論する、賛成・反対する	知 思 態	6	・授業内活動の観察 ・提出物
				知 思 態	0	
期 末 考 査	基本的な表現の確認テストを行う			知 思 態	0	

第3学期学習指導計画									
月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の 観点	領域			評価項目 数	主な評価規準 (評価方法等)
					聞	読	取		
1	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に推論したり、相手を説得しようとしていたりできる。	Unit 2 Lesson 3 経験談のスピーチ	できごとをいきいきと描写する、 経験からアドバイスをする	知 思 態	●	○	○	6	・授業内活動の観察
	*Speaking-Presentation 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、さまざまな報告をしたり、自分の望みを伝えたりできる。	Unit 2 Lesson 4 遊びやスポーツを紹介	ルールや手順を順序だてて説明する 聞き手の知識に合わせて説明する	知 思 態	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
2	*Speaking-Presentation 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら詳細を説明したり、自説を主張したり、発表したりできる。	Unit 2 Lesson 5 日本をPR	事実と意見を区別して述べる、 文化や習慣を説明する	知 思 態	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
				知 思 態	○	○	○	0	
3	*Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、仮定したり、論理的に推論したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。	Unit 2 Lesson 6 物語の両面を伝える	利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変える	知 思 態	○	○	○	3	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト ・提出物
期 末 考 査	基本的な表現の確認テストを行う			知 思 態	○	○	○	0	

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識 ・ 技能			・意見交換や議論に必要な語彙や表現(賛成・反対、理由提示、確認など)を理解し、適切に用いている。 ・相手の発言に応じて適切に応答する技能を身に付けている。	・発表に必要な語彙や表現、構成(導入・展開・結論)を理解している。 ・聞き手に分かりやすく伝えるための発話技能(発音、強勢、間など)を身に付けている。	・論理的な文章を書くための語彙や文構造、パラグラフ構成を理解している。 ・基本的な文法や表現を適切に用いて書く技能を身に付けている。
思考 ・ 判断 ・ 表現			・自分の考えを整理し、相手の意見を踏まえて論理的にやり取りしている。 ・話題に応じて根拠を示しながら適切に意見を述べている。	・伝えたい内容を整理し、論理的な構成で発表している。 ・目的や聞き手に応じて内容や表現を工夫している。	・自分の考えや主張を明確にし、理由や具体例を挙げて論理的に書いている。 ・目的や読み手に応じて内容や構成を工夫している。
主体的に 学習に 取り組む 態度			・相手の発言を尊重しながら、積極的に対話に参加している。 ・よりよいコミュニケーションを目指して、やり取りを工夫しようとしている。	・自分の考えを積極的に伝えようとしている。 ・発表の改善に向けて振り返りを行い、よりよい表現を目指している。	・自分の考えを表現しようとして主体的に書く活動に取り組んでいる。 ・推敲や修正を行い、よりよい文章にしようとしている。

評価の方法	知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。
-------	---

担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)	論理・表現 I は、ペアワーク・グループアクティビティを通して、プレゼンテーションや課題提出が求められます。積極的に他の生徒たちと協働し、英語力を伸ばしていきましょう。
--	--

令和8年度 情報科「情報I」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	全学科・1年次
教科書	情報I step Forward!(東京書籍)	副教材	情報I 学習ノート(東京書籍)

1 科目の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付け、実際に活用する力を養うことを目標とする

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1章 情報社会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とメディア ・知的財産権 ・情報モラル 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報やメディアの特性について知り、理解する。 ・問題を発見・解決するための共通する手順や方法を学習する。 ・問題を解決するために情報技術や様々な発想法を理解する。 ・Word、PowerPoint を使った実技課題への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
	5				
第1学期	6	2章 情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアと文化の発展 ・ネットコミュニケーション ・情報デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について学習する。 ・情報を分かりやすく伝えるための情報デザインを理解する。 ・ユニバーサルデザインについて学び、主体的に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
	7				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	2章 情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のデジタル化 ・基数変換 ・データの圧縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログデータとデジタルデータの違いを理解する。 ・コンピュータ内部での数値・文字・記号などの表現の仕組みを理解する。 ・デジタルデータのプラス面とマイナス面について、両面から理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
	10				
第2学期	11	3章 プログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成 ・処理の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本構成と五大装置について理解する。 ・基本論理回路について学び、仕組みを理解する。問題解決の手順を考え、表現する。 ・Excel を使った実技課題への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	3章 プログラミング 4章 ネットワークの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの仕組み ・ネットワークの活用 ・論理回路 ・プログラミング 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの理解とその利用について考える。 ・情報化の進化に伴う暮らしや社会の変化について考える。 ・アルゴリズムやプログラミングに関する課題への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
	2				
	3				